

白川町総合計画審議会 会議録（第5回）

1. 開催日時 令和2年9月8日（火） 午前9時25分 開会
2. 開催場所 白川町役場 分館大会議室
3. 出席委員

会 長	竹内 治彦君	副 会 長	細江 茂樹君
委 員	藤井 宏之君	委 員	佐伯 好典君
委 員	服部 圭子君	委 員	田口 和義君
委 員	古田 文英君	委 員	山中 剛彦君
委 員	鈴村 雄二君	委 員	今井 和秀君
委 員	額 額 眞彦君	委 員	小栗 敏弘君
委 員	安江 万美子君	委 員	浅井 長可君
委 員	福田 喜美子君	委 員	細江 照男君
委 員	後藤 茂巳君	委 員	内藤 敬子君
委 員	塩月 祥子君		
4. 欠席委員 委 員 加藤 邦之君
5. 説明のために出席した者の職氏名

町 長	横家 敏昭君	副 町 長	佐伯 正貴君
教 育 長	鈴村 雅史君	総務課長	安江 章君
企画課長	長尾 弘巳君	町民課長	藤井 勝則君
保健福祉課長	杉山 哉史君	農林課長	三宅 正仁君
建設環境課長	藤井 充宏君	教育課長	藤井 寿弘君
議会事務局長	大岩 裕樹君	会計管理者	加藤 博史君
林業専門監	梶浦 善孝君		
6. 職務のために出席した者の職氏名

企画係長	鈴村 幸祐	企画係主査	山下 直紀
企画係主査	山口 裕代		
7. 会議の経過

企 画 課 長	開会する旨を宣告し、あいさつした。（午前9時25分）
会 長	あいさつした。
町 長	あいさつした。

【協議事項】

 - (1) 部会の開催及び結果報告について

会 長	(1) 部会の開催及び結果報告について事務局に説明を求めた。
山 下 主 査	資料により説明した。
山 中 委 員	総務企画部会の意見を報告した。

古田委員 産業建設部会の意見を報告した。

佐伯委員 教育民生部会の意見を報告した。

会長 質疑を許した。

(質疑なし)

(2) 総合計画基本構想・基本計画(案)について

会長 (2) 総合計画基本構想・基本計画(案)について事務局に説明を求めた。

山下主査 資料により説明した。

会長 質疑を許した。

服部委員 1番の地域資源を生かすについて、水源とか、山とか、そういった具体的な文言が基本構想に入っていないですが、環境も破壊されて、気象変動もあり、健康面でも崩壊というか、あまり良くない状態の中で白川らしい役割があると思います。地域資源というところに水とか山とか土とかっていうのを入れてはどうかと感じましたので、意見として言わせていただきました。

鈴村委員 まちの将来像ですが、すっきり短い言葉にしてはどうかと思います。ちょっと長いのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

山下主査 ダイジェスト版の前回お配りしたものの表紙の方に、「思いを形にできるまち」とか、そういった形でわかりやすく載せたいとも思ったのですが、将来像を掲げるときに、あまり短くてもわかりにくいかなというところがありまして将来像は掲げさせていただきました。

会長 将来像の表現として、工夫の可能性があることを確認いただきつつ、この他に、何か入る言葉があるかというようなところで最終的に変更してもいいかと思います。

最終的に全部まとまったところで、この言葉が馴染むというようなことで、若干の修正はあるということ踏まえた上で体系図をご承認いただけるかということで進めていければと思います。

服部委員 重点方針ですが、「ひとの創生」というのが2つ重なっていて、最初の頃も並べ方の議論が出たと思いますが、全体は通っていくというようにした方がわかりやすいのかなと思いました。

企画係長 会長がおっしゃられた通りで、まちひとしごと創生総合戦略から重点方針という形で持ってきておりました体系図として4つに分けてあるところです。これについては体系図の見せ方のところなので、表現の仕方を検討していきたいと思います。

会長 レイアウトと表現の整え方というところなのでこれは工夫いただければ

と思います。将来像としてももう少し何か具体性があってもいいかと思いますが、一番大変なところで議論していくと進まなくなりますので最後に固めればいいのかと思います。

藤井委員 体系図全てで白川という言葉もたくさん出てきますが、日本とか、国とかそういった言葉というのは、どこかで使えないかと思います。当たり前かもしれませんが、やはり愛国心は必要だと思います。

会長 社会保障の充実、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の運営ということで、これは国の問題じゃないかということもありますが、県単位化の会議の座長をする中で、平準化するかどうかというのが議論になっています。議論の中で、各自治体の努力というものがどう反映されるのか、いくつかの自治体の会長さんから言われています。そういったところでは県単位化されようと、様々な保険財政の健全化のために、保険事業は各自治体にしっかりお願いしたいというところは今も残っておりまして、平準化というのは皆さんが適正な支出を考えることが必要で、必要な支出は当然していかないといけないわけですが、健康な老後を過ごさせて健康なまま最期を迎えられるように様々な努力をしてほしいということがあります。そういった意味でこの社会保障の充実というところでは、自治体単位でなされることは地域の健康づくりというような形であると思いますので、それを書き込んでいただいてもいいのではないかと思います。

服部委員 予防教育という面で、生活習慣病を予防していくことが重要と考えるので進めていただきたいと思いました。

もう一つ、部会の前の資料ですと、特色のある農業の振興ということで、農業と林業を両方、連携していくようなことがとても大事だということで多様性ということと、農林業の振興という言葉になりました。

部会の資料では、有機農業やICTというように具体的な文言がありましたが、読み取れないような形になっているのでできたら、特色を記載いただけたらと思います。

町内でも食料自給率が低くなっているので、対策をあげてはと思います。

それから農業の形として、多様性ですが、有機農業と集落営農が何か対立するような形ではなく一緒に農業を推進していくような、お互いに技術交流とかで高めあっていくような連携が大事だと思います。

また、自給という意味では、エネルギー自給を高めるということでバイオマスなどの取り組みもあるのでエネルギー自給を盛り込んではいかがでしょうか。

山下 主査 部会の資料では、イメージしやすいように、有機農業とかICTを活用したというところを入れていましたが、具体的な取り組みなどは計画書の本編等に表記をしていきたいと思っています。

食料自給率の話が出ましたけれども、施策5のところには地産地消の推奨と食の安全確保というところを一つ項目で挙げてあります。これに直接関係するかどうか、別で表記した方がいいとかって議論が出てくるかと思いますが、これは教育のところにも繋がっていくのでどこにあげようかなというところもあります。そういったところも意識しながら施策としては上げていきたいと思っています。

エネルギーについてですが、前回の5次総ではエネルギーの活用というところが具体的に表記されていましたが、今回出していませんが、町でも戸建ての太陽光に補助金を出し、野点の太陽光は設置届の提出を義務付けることもしていますので、バランスを取りながら記載していきたいと考えています。

塩月 委員 私自身、高校1年生になる息子がおりまして、この町で暮らし続けるために高校生をどのように育てていけばいいか、どういう環境で勉強させていけばいいかということを考えました。

今の公共交通での高校生の送迎は一生懸命やっていたでいて充実しはじめていると思います。しかし、通学できない生徒は町から出ていってしまうということもあります。そういう子供たち、夢を持って自分の専門的な勉強をしたいとかちょっと挑戦して学力の高いところに行きたいとかって子供たちに対する支援とか、その方法というのがとても少ないと感じました。

進み続けられる町ということにおいて高校生をどのような形で家族が送り出すかっていうことも大切になってくると思いますので、高校生さらには大学ということもあるかもしれないですが、支援ということも考えていけたらと思います。

佐伯 委員 部会長で集まって打ち合わせをしたときに、道路が全ての基盤というお話もありましたが、教育も全ての基盤だろうということで、ふるさと白川を思い続けるというように書いてありますが、もう少し具体的に言わせていただければ、それこそ農林業とか、大工さんもそうですし白川の自然を保全するとか、全てのことがやはり教育と結びついて、それをうまく結びつけて最終的に白川愛が育つ、白川にはこんな産業があってこんな職業の人たちがいっぱいいて、こんなに豊かな自然があるというところを具体的に表せたらと思いますので、ふるさと愛とか町の

基盤そのものが子供たちの教育にあるといった形がうまく表現できればと思います。

(3) まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

会 長 (3) まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について事務局に説明を求めた。

企画係長 資料により説明した。

会 長 質疑を許した。

後藤委員 地方創生交付金事業の中の高齢者と女性が活躍できる拠点作り支援事業ということで、女性が活躍できるというのは6次総として重要なポイントとだと思っています。よく色々な事業、例えば国ですと閣僚でも女性閣僚の数値目標を決めて女性の進出を促そうという動きが見えますが、身近なところでは小中学校の女性校長が増えたというのはびっくりしています。そう考えると町行政において女性で課長になりたい人はいないのか、なれる人はいないのか、それともなれる環境にないのかという3つのポイントがありますが、なれる環境にないのであれば、それは女性のいろんな進出を妨げている要因があると思います。実際、白川町の行政としては女性管理職の数値目標があるのかということをお聞きしたいと思います。

また、藤井委員はよくご存知かと思いますが、旧黒川村の満蒙開拓団の女性の話ですね、白川町のそういう歴史的なこともしっかり子供に伝え、戦争の悲惨さとあわせて、率先して女性の地位向上に取り組んでいくことも必要ではないかなと常々思っています。

女性が活躍できる拠点作りという中で行政にも女性の管理職が何人か居ると、企業とかも相談しやすいと思います。そういったメリットが出てくるのではないかと思いましたが発言させていただきました。

総務課長 女性活躍ということで役場の今の女性の登用ということですがけれども実際、職員の中でポスト職につきたくないという職員があるということも事実です。

今、課長職になっております専門監が2名おります。その他、係長職であるとか、園長であるとかそういったポストには女性もついておりますけれども、課長職というような形で、課を束ねるポストに女性はいません。町としてもできるだけ登用していきたいと思っておりますが、その部署における経験値であるとかそういったところもありますので、なかなか難しい問題ではありますが、今後も進めていきたいと思っています。

会 長 今回の総合戦略の話ではなく、先ほどの総合計画の中に、女性の活躍を入

れられないかというご意見として、受けていただければと思いますし、人づくりということで、教育はありますが中学校までで止まるけれど、高校生・大学生くらいの存在をどう位置づけるのかというようなところも先ほど議論になっていましたのでそういう意味で、いわゆる子供の教育ではないもう少し違った形の人づくりというところの問題意識を持っていただければと思います。

総合戦略はこの会議で確認する必要がある、このように計画、実行されて報告されました。

総合戦略の数値目標の達成状況として拝見すると、産業的な部分である程度できているところもありますが、移住定住というか社会増減のところは計画よりも低くなっています。

今度、総合計画を総合戦略と一体的に作っていく中ではこの数値目標も立てていくという理解になります。そうするとこれはどういう形でご紹介いただいたのか確認しておきたいと思います。

企画係長 今回の見直しの中で会長がおっしゃられたように、総合計画の中で目標数値を設定していきたいという予定をしています。総合計画のダイジェスト版を見ていただきまして目標をどこに設定するかという話もあるかと思いますが、関係課と協議をしながら、施策項目を設定していきますので、その施策項目ごとに、数値目標を設定して実際それがどのような形で達成されたかという部分をPDCAのサイクルで1年ごとに見直し、予算・決算といった部分で説明ができないだろうかというところを考えています。

今回の総合戦略の目標数値の設定に関しては、根拠といいますか、そこが、わかりづらい部分も若干ありますので、今回一体的に作る中で後ほど評価がしやすく町民の皆さんにもわかりやすい数値目標で、なおかつ6次総の将来像に沿った形で設定していきたいと考えているところで

会長 設定していくというのはいいと思いますが、総合戦略のこの段階で何ができてないかということはしっかり総括しておく必要があると思います。Uターン者数は大きく違うわけで、関係人口などは数値目標に届いてないというところがありますので、確認をする必要があると思います。そこを総括して、先に進んで行くのかなと思います。

【その他】

会長 その他について説明や意見がないか求めた。

企画係長 今後の進め方について資料により説明した。

服部委員 町民の方との懇談会等の計画がコロナによってなくなってしまいました。アンケート調査を未来部の方でやりましたが、補足とか、別の形で何か取り組むというような点はありますか。

山下主査 昨年度と今年度、未来デザイン研究部の方にご協力をいただきながら町民サロンであるとか意見募集を行ってきました。今ご意見いただいたように、本来ですと各地区で懇談会等を行う予定もありましたがコロナの状況でできないという形になったので代替としてアンケートを行わせていただきました。この先も懇談会の開催はなかなか難しい状況だと思います。

佐伯委員 今回、部会を2回行いましたが、11月に具体的な計画案が出るということで、部会で具体的なところまで話を進めていいものか、悩んだところがありました。各部会でも具体的な事業を考えて、叶うか叶わないかはまた別として策定主任者会議に意見を提案したいということも皆さんお持ちかなというところを感じていますので、意見を上げられる場所を部会で設定できないかと思います。

企画係長 先ほど説明させていただきました日程で審議会での協議を考えています。部会の開催は、委員の皆さんの総意によって開催するという形にしておりますので、今ご提案のあった内容で、部会の開催ということになれば開催していただく方法もあると思います。時期は11月に次の審議会を予定していますので、それまでの間が考えられると思います。

会長 必ずしも部会という方法を取らなくても、委員の皆さんが事務局に意見を寄せていただくのはあると思います。あえて部会を開く場合は部会長を中心とした開催はあり得るというのが事務局の判断ということです。

副会長 閉会にあたりあいさつした。

会長 閉会を宣した。

(午前11時30分)